

## 那須平成の森の新たな挑戦！

Part.3!

### ◆樹林地管理計画とは？

### ～『樹林地管理計画の策定』～

開園 10 周年を機にとりまとめられた「那須平成の森マスタープラン」では『訪れる度に新たな発見！学び、楽しみ、守りつなげる、那須平成の森』を基本理念に掲げました。そこで、森の価値をどのように高め、維持管理していくのか、樹林地の管理や手法の方針を取りまとめた「那須平成の森 樹林地管理計画」を策定しました。

地域や多様な主体と協働しながら、必要な保全や整備、管理を通して、学びと感動が得られるような、利活用と保全を促していきます。

### ◆森をエリア分けして管理する

那須平成の森は、560ha の広大な森を有しています。その全てに手を入れていくのは難しいため、まずは、自然環境の保全を最優先事項としました。

その上で『より良い樹林地環境の維持・創出が期待されるエリア』、『より深い体験・環境教育をはじめとした多様な学びの提供が期待されるエリア』など 17 エリアを設定しました(右の図参照)。



▲樹林地管理計画イメージ MAP

### ◆地域事業者主催プログラム「ツツジの育つ、明るい森づくり」プログラム実施

上記でご紹介した樹林地管理計画に基づき、11月にツツジに注目したプログラムを実施しました。

那須平成の森は、多種多様なツツジが伸び伸びと咲く風景が魅力のひとつです。しかし、周りの樹木が大きく育ち、ツツジに光が当たらず花付きが悪いものもあります。

花付きをよくするためには、明るく開けた環境が必要です。そこで、元気なツツジを増やしていくため、地元の「那須高原自然学校」主体で『明るいツツジの森づくり』と題したプログラムを11月に実施しました！

伐採作業の前に、エリア内を毎木調査し、参加者のみなさんに、伐木する樹木を選んでもらいました(なぜこの樹木を伐採するのか、なぜ残すのかを考えながら)。そして、ノコギリや剪定鋏を使い、日差しが届くように作業を行いました。

伐採してみると、曇り空でもエリア内の明るさがグッと増したと感じました。来年以降のツツジのシーズンでどのような変化が起こるのか楽しみです！

樹林地管理計画に基づき、那須平成の森では今後もこのような森の維持管理プログラムを実施していきます。活動と一緒に参加したい、今後に気になる方は那須平成の森のホームページのチェックをお願いします！



## 那須平成の森の冬の楽しみ方 ～図書コーナーでのんびり過ごそう！～

本格的な冬が始まりましたね。那須平成の森の冬は、風が強かったり雪が多かったり…、せっかく来たけれど、森を歩くのは億劫な時もあります。そこで、このコーナーでは館内でも十分楽しめる過ごし方をご紹介します！

### ■図書コーナーでのんびり過ごそう！

館内の一角に本がたくさん集まったエリアがあるのはご存じでしたか？絵本や科学系の本、小説など。様々な層の来園者の方に楽しんでいただくべく、色んなジャンルの本を揃えています。



◀大きな窓に面した図書コーナー。飲食も可能なので、飲み物を飲みながら気になった本を手にとってみてください。冬の景色を見ながらの読書もいいものですよ！



◀ロッキングチェアもあります！靴を脱いでご利用ください。

### ■おすすめのコーナー

コーナーの奥には、我々インタープリターが主役の展示「インタープリターおすすめの一冊」が設置してあります。

絵本から科学誌、小説、図鑑、漫画など…。インタープリター達の個性が垣間見れる、おすすめの展示です。

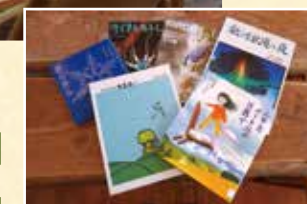


### ■「インタープリターおすすめの一冊」チラ見せ！



○絵本「わたしとげぼく」  
猫の「わたし」と男の子「げぼく」との日常を描いた作品です。「ねこ」のわたしは、げぼくに対して冷たくわがまま態度で接します。年月が経ち死が近づいた時、げぼくへの気持ちが少しずつ変わり、最後に本当の気持ちが描かれます。大人も子どもも涙なしでは読めない感動作品です。

おすすめしたインタープリター：ガッキー



▲その他にも、自然や生き物に特化した書籍や、哲学的な内容の本や詩集なども取り揃えています。

### ○小説「われはロボット」

AIの技術がどんどん進化する現代。いずれ迎える未来のことを表しているかのような作品です。「人間に危害を加えてはいけない」「人間の命令に服従しなければならない」だけども守らなければならない。板挟みになり右往左往するロボットたちの様子は、どこか私たちに似ている。自分自身と重なることもある、奥深い一冊です。

おすすめしたインタープリター：リータ



冬は、外で雪の森を堪能するのも楽しいですが、館内でもゆったり過ごせます！ぜひ、ご利用ください！